

年頭のご挨拶

日立労働基準監督署長

細谷 克



新年あけましておめでとございます。

日立労働基準協会会員の皆様方には、日頃より労働基準行政に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、労働災害は、茨城県全体としては減少の傾向にありますが、当署管内においては横這いの状況にあり、更に、死亡災害については、一昨年は全産業において七名となっておりますがこの方々も大変残念な結果となっております。

今年は、労働災害の大幅な減少、特に死亡災害は0を念頭に、諸々の対策を講じていきたいと考えておりますので、昨年に増しましてご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

話しは変わりますが、IT革命と言われている21世紀に入り、はや数年が経過しており、労働環境も更なる変革をもたらすであろうと思われれます。インターネットが、益々普及する方向にあり、携帯電話との連携等、その用法も、様々の状況にあります。

一例をあげれば、オンラインで商品が購入できるショッピングサイトで、多分野の商品をそろえている電子モールとか、ある分野に特化した専門店サイト等、今までは、どちらかと言えば情報検索・閲覧等の利用が主であったと思料されるが、商取引等の分野への利用が増加してきており、電子取引における、従来と違ったタイプのリスクが発生し、そのマネージメントも更に複雑化するものと思われれます。

当然のことながら、それに伴う労働環境への影響もあると考えられ、労務管理、特に従業員の健康管理に対し、なお一層の配慮が必要かと思われれます。

新年早々から、当を得ない挨拶となりましたが、これからも会員事業場の皆様方の労働基準行政に対するご支援・ご協力の程、宜しくお願い致しますとともに、皆様方のなお一層のご発展をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

日立労働基準監督署

職員一同

平成17年度 全国労働衛生週間説明会を開催

9月2日(金)日立市民会館において、平成17年度全国労働衛生週間説明会を、日立労働基準監督署と共催で開催いたしました。

会場を急遽変更したため、参加者の減少を心配しましたが、会員事業所の安全衛生関係者等、説明会としては近年最多の270名の参加があり、盛大に開催することができました。

説明会は、野崎会長並びに細谷署長の挨拶の後、全国労働衛生週間の実施要綱及び今年7月に施行された石綿障害予防規則について、監督署の深津安全専門官より、パワーポイントにて説明が行われました。

続いての特別講演では、「こころキラリ」職場のメンタルヘルス(と題して、筑波大学大学院人間総合科学研究科助教の松崎一葉氏による講演が行われました。

講演は、松崎氏が執筆・監修された「こころキラリ」職場のメンタルヘルス「生き生きと働くためのこころ健康マニュアル」(協会で購入し参加者に無料配布の冊子に沿って、パワーポイントで進められました。講演の中で松崎氏は、管理監督者が身につけておくべき相談者への対応のあり方等について職場におけるメンタルヘルスにおいて大事なことは、管理監督者が受容・傾聴・共感の心の構えをしつかり身につけて、相談者の話しを真剣に聞くことであるとされ、具体的な事例を上げられながらのお話になり、参加者は熱心にメモをとりながら耳を傾けておりました。

謹賀新年

(社)日立労働基準協会

運営委員会一同



特別講演 松崎一葉氏